



第3期 新潟広域都市圏ビジョン
(別冊)



令和7年3月
(令和8年3月 最終改訂)
新 潟 市

方向性（連携協約）

1 圏域全体の経済成長のけん引

a 産学金官民が一体となった経済成長の推進

産学金官民一体となった懇談会を設置して新潟広域都市圏ビジョンの進捗管理を行うとともに、今後の圏域のあり方の検討に取り組む。

b 創業促進や地域企業等の成長促進

創業への支援、地域企業等による新規事業展開や販路拡大の支援などに取り組む。

c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

地域資源を活用した商品・サービスの開発や販路開拓の推進に取り組む。

d 戦略的な観光施策

観光客の受入環境の整備を図りながら、圏域内の観光資源を活用し、コンベンション等（MICE）も含めた交流人口の拡大に取り組む。

e その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

国内外に対する効果的な情報発信等により、経済成長のけん引に取り組む。

2 高次の都市機能の集積・強化

a 高度な医療サービスの提供

救急医療提供体制の充実を図り、高度な医療サービスの提供に取り組む。

b 高度な中心拠点や圏域内外へのアクセス拠点の整備

高度な中心拠点や交通アクセス拠点の整備、利用促進等に取り組む。

c 高等教育・研究開発の環境整備

高度専門的な研究開発機関の環境整備や研究成果の活用等に取り組む。

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

(1)生活機能の強化に係る政策分野

a 地域医療

在宅医療等も含めた地域医療サービスの充実に取り組む。

b 福祉

少子高齢社会に対応した福祉サービスの充実に取り組む。

c 教育・文化・スポーツ

公共施設の相互利用等による教育・文化・スポーツの振興に取り組む。

d 土地利用

コンパクトシティをはじめとした、圏域全体の土地利用の在り方の検討に取り組む。

e 地域振興

地域の観光資源の開発や商店街の活性化等に取り組む。

f 災害対策

災害時の連携体制の構築や防災・減災施策の推進に取り組む。

g 環境

自然環境の保全や循環型社会の構築、脱炭素化の推進に取り組む。

(2)結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

a 地域公共交通

地域公共交通ネットワークの確保や利便性向上に取り組む。

b ICTインフラ整備

ICT環境の整備や各分野での活用に取り組む。

c 道路等の交通インフラの整備・維持

道路の老朽化対策やネットワーク機能の向上に取り組む。

d 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

食の安全・安心の確保や地産地消の推進に取り組む。

e 地域内外の住民との交流・移住促進

圏域の魅力の効果的な発信等により、東京圏等からの移住・定住の促進に取り組む。

(3)圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

a 人材の育成

圏域内市町村の職員等の能力向上を図るため、研修の共同実施等に取り組む。

b 圏域内市町村の職員等の交流

圏域内市町村の職員同士の連携強化等を図るため、人事交流の推進に取り組む。

具体的取組

通し 番号	事業名	掲載 ページ	通し 番号	事業名	掲載 ページ
1	1a1 新潟広域都市圏ビジョン懇談会設置・運営	1	8	1d8 新潟市まちなか・観光交流拠点等整備	8
2	1b2 新潟地域産業イベント開催事業	2	9	1d9 圏域内二次交通整備事業	9
3	1b3 NIIGATA SKY PROJECT	3	10	1d10 圏域内三次交通整備事業	10
4	1b4 DXプラットフォームの運営	4	11	1d11 湯めぐり交流人口拡大事業	11
5	1c5 食材ブランド力強化	5	12	1d12 新潟市観光案内センターの運営	12
6	1d6 広域観光周遊ルート形成	6	13	1e13 新潟市北京事務所活用	13
7	1d7 新潟港クルーズ客船誘致受入	7			

14	2a14 高度医療サービス提供	14	17	2b17 新潟駅周辺整備	17
15	2a15 救急医療における電子カルテの活用	15	18	2b18 新潟空港利用活性化	18
16	2a16 救急業務ICT化推進事業	16	19	2c19 農業活性化研究センター活用	19

20	3(1)a20 在宅医療・介護に関わる看護職員の育成・確保	20	39	3(1)f34 災害時相互援助	34
21	3(1)a15 救急医療における電子カルテの活用【再掲】	15	40	3(1)f35 119番映像通報システムの活用	35
22	3(1)b21 子育て支援パスポート利用促進	21	41	3(1)f36 防火・防災管理講習	36
23	3(1)b22 子育て支援センター相互利用	22	42	3(1)g37 再生可能エネルギーの地産地消事業	37
24	3(1)b23 子育て支援員研修実施事業	23	43	3(2)a38 広域交通(県内都市間高速バス)維持	38
25	3(1)b24 病児・病後児保育事業の広域利用	24	44	3(2)a39 生活交通(地域間幹線系統バス路線)維持	39
26	3(1)b25 NET119緊急通報システム共同運用事業	25	45	3(2)a40 生活交通(コミュニティバス)確保	40
27	3(1)c26 公共施設等相互利用(公共施設等総合管理計画)	26	46	3(2)a41 パーク&ライド推進	41
28	3(1)c27 図書館相互利用	27	47	3(2)b16 救急業務ICT化推進事業【再掲】	16
29	3(1)c28 公民館相互利用	28	48	3(2)c42 国県道等整備	42
30	3(1)c29 生涯学習人材バンク情報共有	29	49	3(2)d5 食材ブランド力強化【再掲】	5
31	3(1)c30 文化・観光施設利用促進	30	50	3(2)e33 移住・定住促進【再掲】	33
32	3(1)d31 コンパクトシティ推進	31	51	3(2)e43 出会い・結婚サポート事業	43
33	3(1)e32 信濃川やすらぎ堤賑わい創出	32	52	3(3)a44 職員研修交流	44
34	3(1)e33 移住・定住促進	33	53	3(3)a45 水道分野専門別研修	45
35	3(1)e9 圏域内二次交通整備事業【再掲】	9	54	3(3)a46 教職員人材育成	46
36	3(1)e10 圏域内三次交通整備事業【再掲】	10	55	3(3)b47 職員派遣交流	47
37	3(1)e11 湯めぐり交流人口拡大事業【再掲】	11	56	3(3)b48 教職員交流	48
38	3(1)e12 新潟市観光案内センターの運営【再掲】	12			

1 圏域全体の経済成長のけん引

【連携協約の取組】

a 産学金官民が一体となった経済成長の推進

事業名	新潟広域都市圏ビジョン懇談会設置・運営				
事業概要	圏域内の産業界、大学、金融機関等の関係者により構成される新潟広域都市圏ビジョン懇談会を開催し、連携事業全体のフォローアップを行うとともに、今後の圏域の在り方について意見交換を行う。				
スケジュール	具体的項目				
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	ビジョン懇談会の開催				→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	526	452	→	→	
期待される効果	圏域の将来像の実現に向けて、産学金官民それぞれの役割を認識するとともに、各種連携事業の効果的な推進に寄与する。				
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町				
役割	新潟市	懇談会の設置・運営を行う。			
分担	連携市町村	懇談会の設置・運営に必要な協力を行う。			
費用負担	懇談会の設置・運営に係る費用は原則として新潟市が負担する。				
成果指標	連携事業の成果指標達成率		現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)
			76.7%		90.0%

※実施する事業内容・スケジュール等は適宜見直しを行う予定です。(以下同様)

※事業費見込額は新潟市及び連携市町村の事業費の合計額を記載し、現時点で算出が困難なものについて「→」で、事業費が見込まれないものについて「-」で記載しています。(以下同様)

※事業費は本ビジョンを策定する時点での見込額であり、今後の状況に応じて見直しを行う予定です。(以下同様)

【連携協約の取組】

b 創業促進や地域企業等の成長促進

事業名	新潟地域産業イベント開催事業				
事業概要	新潟市において開催している産業イベントを、連携市町村内の企業の参加・来場を得て開催し、業種や世代を超えた人材の交流や新たな発見、学び、視点を生み出すことで、次世代の産業をけん引する技術やアイデアの創出に向けたイノベーションの機運醸成を促進する。				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	産業イベントの開催				→
	出展・来場案内、周知				→
	高校・大学等の学生来場促進				→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	12,695	12,209	→	→	
期待される効果	圏域内の企業が本産業イベントへ参加、来場することにより、業種や世代を超えた人材の交流から新たな発見や学び、視点を得て、自社の成長発展の機会を得るとともに、参加企業の増加により新潟のイノベーションの機運醸成が図られ、次世代を担う人材が、事業開発や事業承継に挑むきっかけとなる。また、学生へ地元企業を紹介することにより、域内就職を促進することができる。				
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町				
役割 分担	新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を組織し、産業イベントを開催する。 ・出展・来場案内ツール等を連携市町村へ提供する。 			
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・出展・来場案内等を周知し、出展企業・来場者の増加に協力する。 ・各市町村内の高校・大学等へ周知し、来場者促進に協力する。 			
費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・産業イベントの開催経費は新潟市が負担する。 ・出展等に係る費用は各出展企業が負担する。 				
成果指標	連携市町村域内からの来場者の割合	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
		3.4%		5%	

事業名		NIIGATA SKY PROJECT						
事業概要		航空機部品の製造事業などの航空機関連産業への新規参入や事業拡大支援を通じて、市町村域を超えた付加価値の高いサプライチェーンの構築により、新潟地域の経済のさらなる活性化を図る。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		地域サプライチェーンの構築						▶
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		10,381	6,076	→	→			
期待される効果		市町村域を超えた付加価値の高いサプライチェーンの構築による新潟地域のさらなる活性化。						
連携市町村		三条市、新発田市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村						
役割 分担	新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・関連プロジェクトの企画・提案 ・連携市町村との情報共有や各種支援措置の相互連携 						
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市との情報共有や各種支援措置の相互連携 						
費用負担		連携市町村における事業の実施内容に応じて負担						
成果指標		情報交換の実施回数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
					—	年1回		

事業名	DX プラットフォームの運営				
事業概要	異分野・異業種間の企業や人、技術やデータなどを繋ぐ共創環境である「DX プラットフォーム」の活動を通じて、企業のデジタル化や DX（デジタルトランスフォーメーション）に向けた取り組みと新規事業の創出を支援する。				
スケジュール	具体的項目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
	DX プラットフォーム運営	→	→	→	→
	5G ビジネスラボ運営	→	→	→	→
事業費見込額 (千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	計
	12,000	4,050	→	→	
期待される効果	圏域内での DX による新規事業の創出				
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町				
役割	新潟市	DX プラットフォームの運営			
分担	連携市町村	会員企業募集			
費用負担	事業に係る経費は協議の上決定する。				
成果指標	プラットフォーム会員企業数 (圏域内)	現状値 (令和 5 年度)		目標値 (令和 10 年度)	
		2 社		2 社	

【連携協約の取組】

c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

事業名		食材ブランド力強化					
事業概要		農水畜産物の広域的な販売促進のため、連携してプロモーションを実施し、地産地消と販路拡大に繋げ、農業経営基盤強化に寄与する。					
スケジュール		具体的項目		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		各市町村との協議					→
		販促資材等作成					→
		県内、大都市等でのイベント、見本市等を活用したプロモーションの検討・実施					→
		首都圏等への販路拡大セールスの検討・実施					→
事業費見込額 (千円)		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計	
		23,673	22,900	→	→		
期待される効果		販売促進活動を共同実施することで、出荷量や出荷期間をより充実させた厚みのあるプロモーションが見込まれる。					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町					
役割 分担	新潟市	中心となって本事業を実施する。					
	連携市町村	本事業の実施に際し、必要な情報提供や協議を行うとともに、イベントへ参加し運営に協力する。					
費用負担		<ul style="list-style-type: none"> ・事業に係る経費は協議の上決定する。 ・イベント等への参加に係る旅費は各市町村で負担する。 					
成果指標		他市町村と連携した農水畜産物のプロモーション実施回数		現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
				2回		年2回	

【連携協約の取組】

d 戦略的な観光施策

事業名	広域観光周遊ルート形成				
事業概要	「広域都市圏観光情報サイト」の保守・運営を行う。 サイトでは観光スポットやモデルコースなどの情報を集約・編集し、圏域全体の観光情報の発信を行う。併せて、大規模イベントの開催により全国から集まった来場者に対し、圏域内の魅力を発信する。				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	Web サイト管理・運営	→			→
	広告宣伝等プロモーション	→			→
	大規模イベントの開催及びそれに伴う観光誘客と魅力発信	→			→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	13,521	14,406	→	→	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 各市町村の有する観光資源を繋ぐことで魅力ある観光ルートを作成し観光客へ提供できる。 広告宣伝を一元化することによる経費節減が見込める。 圏域内の魅力発信により、イベント終了後も引き続き圏域内にとどまり、宿泊、飲食などの経済活動を行ってもらい、圏域内全体の賑わい創出につながる。 				
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町				
役割 分担	新潟市	中心となって本事業を実施する。			
	連携市町村	本事業の実施に際し、必要な情報提供や実施に向けた協議及び人的支援を行う。			
費用負担	事業に係る経費は協議の上、各市町村で負担する。				
成果指標	新規取材記事の配信回数	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
		3回		3回	

事業名		新潟港クルーズ客船誘致受入						
事業概要		新潟港に寄港するクルーズ客船の誘致・受入に関し、情報と課題を共有し、連携して対策を協議・実施する。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		寄港情報の共有			→			→
		寄港対応			→			→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客船寄港情報を共有することで、ツアー客に対する事前準備を行うことができる。 ・岸壁においてPR事業を実施することで、知名度アップ及びリピーターの獲得が期待できる。 						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町						
役割 分担	新潟市	寄港情報等の収集、意見交換の場の設定を行う。						
	連携市町村	各市町村におけるツアー客対応及び準備、岸壁でのおもてなし事業を実施する。						
費用負担		ツアー客の対応、岸壁でのおもてなし事業等に係る経費は各市町村で負担する。						
成果指標		意見交換回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					2回		2回	

事業名		新潟市まちなか・観光交流拠点等整備						
事業概要		新潟市の文化、観光施設等を整備することで、圏域の中心市としての魅力向上、活性化等を図り、圏域内外からの人を引き付ける魅力的な空間創出等を推進する。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		整備箇所・内容の検討						
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		賑わいの創出、地域産業の活性化、集客交流拠点の活性化が期待できる。						
連携市町村		三条市、五泉市、聖籠町、弥彦村、田上町						
役割	新潟市	中心となって本事業を実施する。						
分担	連携市町村	施設等の利用について広報等に協力する。						
費用負担		各整備等に係る経費は新潟市が負担する。						
成果指標		新潟市観光入込客数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
					1,626万5千人	1,984万8千人		

事業名		圏域内二次交通整備事業						
事業概要		空港や港と圏域内の観光地等を結ぶ二次交通の検討を行うとともに、需要に応じた二次交通の運行等を連携して行う。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		二次交通の充実に向けた検討・ 運行等			→			
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		2,000	2,000	→	→			
期待される効果		交通拠点から観光地への二次交通を充実させることで、移動時間の短縮が図られ時間に余裕ができることから、周辺観光施設への回遊が見込まれる。						
連携市町村		弥彦村						
役割 分担	新潟市	連携市町村との連絡・調整を行い事業を推進する。						
	連携市町村	二次交通の運行に関する企画や広報等、新潟市と連携して事業を実施する。						
費用負担		事業内容に応じて協議により費用負担を決定する。						
成果指標		路線数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					1路線		1路線	

事業名		圏域内三次交通整備事業						
事業概要		岩室温泉を起点として、角田山麓や岩室エリア、弥彦エリアの主要な観光資源を巡る観光周遊バスの運行を連携して行う。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		運行						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		3,500	4,014	→	→			
期待される効果		公共交通が充足していない新潟市西蒲区・弥彦村間に新たな移動手段を提供することで、点在する魅力ある観光スポットへの周遊性の向上と新たな誘客促進を図ることが期待できる。						
連携市町村		弥彦村						
役割 分担	新潟市	三次交通の運行に関する企画や広報等、連携市町村と連携して事業を実施する。						
	連携市町村	新潟市と連携して事業を実施する。						
費用負担		内容に応じて協議書を締結し費用負担を決定。						
成果指標		運行路線数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
					1路線	1路線		

事業名	湯めぐり交流人口拡大事業				
事業概要	岩室温泉（新潟市西蒲区）及び弥彦温泉（弥彦村）は隣接しながらも異なる泉質をもっており、泉質の違いを活かし温泉を軸とした体験型観光を推進することで、交流人口拡大と地域の魅力向上を図る。				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	機能温泉浴 PR・イベント実施		→		→
	地元農産物・特産品の活用		→		→
	既存事業との連携		→		→
	取組の広報宣伝		→		→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	—	9,700	→	→	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・岩室温泉、弥彦温泉両地域の周遊観光の促進による滞在時間延長、消費額の増加 ・広域での観光誘客、地域特産品（農産物、加工品）活用による新潟市西蒲区および弥彦村をはじめとする周辺エリアの経済活性化 ・泉質の違いを軸としたエリア全体としての価値、魅力の向上 				
連携市町村	弥彦村				
役割	新潟市	全体方針、業務内容及び役割分担の決定、事業実施等			
分担	連携市町村	新潟市と連携し、全体方針等決定及び事業等実施			
費用負担	事業にかかる経費は協議の上決定し、各市町村で負担する。				
成果指標	観光入込客数（岩室温泉、弥彦温泉）	現状値 (令和7年)	目標値 (令和10年)		
		241,000人	252,000人		

事業名		新潟市観光案内センターの運営					
事業概要		新潟駅構内に新たな観光案内センターを整備し、来訪者へのおもてなしと本市及び新潟広域都市圏の観光情報・魅力等を発信する。					
スケジュール		具体的項目		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		新潟市観光案内センターの運営					→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計	
		38,285	40,201	→	→		
期待される効果		圏域への来訪者及び滞在時間の増加に伴う経済の活性化					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町					
役割 分担	新潟市	観光案内センターの管理運営					
	連携市町村	観光情報、観光コンテンツの提供					
費用負担		観光案内センターの管理運営に係る経費は新潟市が負担し、その他の経費は協議の上決定する。					
成果指標		観光案内センターの来館者数		現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
				—		延べ280,000人	

【連携協約の取組】

- e その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

事業名	新潟市北京事務所活用							
事業概要	新潟市北京事務所を活用し連携市町村の情報発信をすることで、経済や観光の交流促進を図る。							
スケジュール	具体的項目				令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
	北京事務所の現地 SNS における 連携市町村の情報発信							→
事業費見込額 (千円)	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計			
	32,222	39,018	→	→				
期待される効果	14 億人規模の市場を抱える中国において、観光や製品の PR 効果が見込める。							
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町							
役割 分担	新潟市	北京事務所の現地 SNS において、観光や製品に関する情報を中国語で発信する。						
	連携市町村	観光や製品に関する情報(テキスト、画像、動画等)を提供する。						
費用負担	各市町村の役割分担に係る経費はそれぞれで負担する。							
成果指標	北京事務所を活用した連携市町村による情報発信数			現状値 (令和 5 年度)		目標値 (令和 10 年度)		
				14 回		10 回		

2 高次の都市機能の集積・強化

【連携協約の取組】

a 高度な医療サービスの提供

事業名	高度医療サービス提供				
事業概要	新潟市における救命救急センターの充実により、新潟医療圏において高度な医療サービスを提供する。				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	救急医療の実施				→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	3,590,869	3,868,169	→	→	
期待される効果	住民が将来にわたって安心して質の高い医療を受けることができる。				
連携市町村	五泉市、阿賀野市、阿賀町				
役割分担	新潟市	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市民病院における救急医療提供体制の充実を図る。 退院後の在宅医療等の体制整備を行う。 医療機関の適正受診に係る普及啓発等を行う。 			
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の在宅医療等の体制整備を行う。 医療機関の適正受診に係る普及啓発等を行う。 			
費用負担	新潟市民病院の運営に係る経費は新潟市が負担する。				
成果指標	新潟市民病院「急患外来」における二次・三次救急患者の占める割合	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
		56.4%		50.0%	

事業名		救急医療における電子カルテの活用					
事業概要		初期救急医療機関である新潟市急患診療センターに電子カルテを導入し、環境が整いしだい、センターを受診した患者のかかりつけ医等と医療情報を共有することにより、効率的な医療提供を行う。					
スケジュール		具体的項目		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		システム整備		→			
		運用					→
		他医療機関との医療情報活用			環境が整い次第	-----	-----→
事業費見込額 (千円)		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計	
		229,000	28,796	→	→		
期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> ・センター及び患者のかかりつけ医における診療の効率化と質の向上。 ・センターにおける混雑の解消と待ち時間の縮減。 					
連携市町村		五泉市、阿賀野市、阿賀町					
役割 分担	新潟市	センターにおいて電子カルテを整備・運用し、環境が整いしだい、かかりつけ医等と医療情報の共有を図り効率的な医療提供を行うほか、医療機関の適正受診に係る普及啓発を行う。					
	連携市町村	医療機関の適正受診に係る普及啓発を行う。					
費用負担		センターにおける電子カルテ関連費用は新潟市が負担する。各市町村が行う広報費用は各々で負担する。					
成果指標		センターを受診した患者の満足度 (「とても良い」とした割合)		現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
				36.9%		45%	

事業名	救急業務 I C T 化推進事業				
事業概要	病院収容所要時間の短縮による傷病者の負担軽減と、増加する救急要請（出動）に迅速に対応することを目的に、I C T 技術を救急業務に導入する。				
スケジュール	具体的項目	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
	システム導入				→
	他消防本部へのシステム概要説明				→
	システム勉強会の開催				→
	システムの維持管理				→
事業費見込額 (千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	計
	13, 598	28, 280	→	→	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷病者の受入れ要請にかかる時間の短縮 ・ 病院収容所要時間の短縮 ・ 傷病者の負担軽減 				
連携市町村	三条市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、弥彦村、田上町、阿賀町				
役割 分担	新潟市	システム導入、維持管理、市内外関係病院との調整、説明会・勉強会の開催			
	連携市町村	各市町村内での事業運用、各市町村内病院との調整			
費用負担	システムの導入、運用に係る経費は各市町村で負担する。				
成果指標	導入市町村数	現状値 (令和 5 年度)		目標値 (令和 10 年度)	
		0 市町村		3 市町村	

【連携協約の取組】

b 高度な中心拠点や圏域内外へのアクセス拠点の整備

事業名	新潟駅周辺整備				
事業概要	<p>在来線の高架化や新幹線・在来線同一ホームによる乗り換えの利便性向上、また駅前広場や高架下交通広場の整備により駅南北の連続性を高め、圏域内外へのアクセス拠点としての機能強化を図る。</p> <p>さらに鉄道横断箇所における交通混雑を緩和するため、周辺道路の整備を行う。</p>				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	新潟駅交通ターミナル整備事業	→			→
	連続立体交差事業	→	→	→	
	駅前広場整備	→	→		
	駅周辺道路空間整備 (新潟鳥屋野線ほか)	→			→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	5,049,457	3,436,569	→	→	
期待される効果	圏域における拠点性の向上や観光、通勤通学、通院等の利便性向上が期待できる。				
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町				
役割	新潟市	本事業を実施する。			
分担	連携市町村	本事業の推進に協力し、新潟駅の利用拡大に連携して取り組む。			
費用負担	新潟駅周辺整備に係る経費は新潟市が負担する。				
成果指標	新潟駅一日平均乗車人員数	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
		33,188人/日		35,451人/日 (令和6年度実績)	

事業名		新潟空港利用活性化						
事業概要		新潟空港の利用活性化を図るため、各市町村と情報・課題の共有や広報の連携を行う。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		国内・国際各既存路線PR事業						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		連携による周知活動の強化で、空港利用への機運が高まり、より効果的な利用促進に繋がる。						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町						
役割 分担	新潟市	情報の収集、交換を行う。						
	連携市町村	情報・課題の提供や利用促進のための周知・PRを行う。						
費用負担		事業の周知など各市町村の役割分担に係る経費はそれぞれが負担する。						
成果指標		連携市町村との情報交換回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					2回		2回	

【連携協約の取組】

c 高等教育・研究開発の環境整備

事業名	農業活性化研究センター活用						
事業概要	農業活性化研究センターで実施した栽培実証試験の結果を公開し、その活用を促進する。また農業者等向けに6次産業化や農商工連携に向けた支援（研修会・セミナー開催等）を行う。						
スケジュール	具体的項目			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	栽培実証試験結果活用の促進			→			→
	研修会・セミナー等開催			→			→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計		
	14,306	8,118	→	→			
期待される効果	圏域における農業振興が図られる。						
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、聖籠町、弥彦村、田上町						
役割 分担	新潟市	本事業を実施する。					
	連携市町村	事業の周知等、事業実施に向けた協力をする。					
費用負担	事業実施に係る費用は原則として新潟市が負担する。 (但し、セミナーの受講料等は受講者が負担する。)						
成果指標	研修会等開催回数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
				4回	4回		

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

【連携協約の取組】
a 地域医療

事業名	在宅医療・介護に関わる看護職員の育成・確保							
事業概要	在宅医療・介護に関わる看護職員の育成・確保のため、二次医療圏域の市町や関係団体・機関等と連携してそれに資する研修会を開催する。							
スケジュール	具体的項目				令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
	研修会の実施、次回開催の検討				—			▶
事業費見込額 (千円)	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計			
	210	63	→	→				
期待される効果	圏域で連携した研修を開催することで、連携に関する意識の醸成や圏域間での教育プログラム策定が可能となり、看護職員の資質の向上及び人数の確保が期待できる。							
連携市町村	五泉市、阿賀野市							
役割 分担	新潟市	研修会を企画・開催する。						
	連携市町村	研修会に対し、広報・運営等の協力を行う。						
費用負担	各市町村における広報活動に係る経費はそれぞれが負担する。							
成果指標	研修会開催回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)		
				2回		2回		

【連携協約の取組】

b 福祉

事業名	子育て支援パスポート利用促進				
事業概要	「にいがたっ子すこやかパスポート」について、連携市町村の協賛店舗でも特典が受けられるように検討・調整する。また連携市町村が実施している同事業については、新潟市の協賛店舗でも特典が受けられるように検討・調整する。				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	協賛店アンケート (変更・退会受付)				→
	実施に向けて協議 (対象年齢の統一等)				→
	課題整理、検討、実施				→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	1,138	1,208	→	→	
期待される効果	各市町村間で相互に特典サービスが受けられるため、子育て家庭の負担をさらに軽減でき、また利便性が向上する。				
連携市町村	新発田市、加茂市、胎内市、聖籠町、田上町、阿賀町				
役割 分担	新潟市	各市町村間で相互に特典サービスが受けられるよう、新潟市が中心となって協議・調整を進める。			
	連携市町村	連携市町村における協賛店への依頼や周知を行う。また同事業における住民への周知等を行う。			
費用負担	各市町村の役割分担に係る経費はそれぞれで負担する。				
成果指標	子育て支援パスポート協賛店舗数	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
		721店(新潟市)		771店(新潟市)	

事業名		子育て支援センター相互利用						
事業概要		子育て支援センターの利用拡大に向けて、各市町村間で施設紹介やイベント情報のパンフレットを作成し、積極的な情報発信を行う。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		施設紹介パンフレット作成						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		370,120	364,516	→	→			
期待される効果		各市町村における各施設の場所や利用方法、イベント情報などを発信することで、広域的な子育て支援が可能となる。						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町						
役割 分担	新潟市	各市町村と連携しながら事業を実施する。						
	連携市町村	新潟市と連携しながら事業を実施する。						
費用負担		事業に係る経費は協議の上、各市町村で負担する。						
成果指標		新潟市外在住者利用数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					3,457人		5,500人	

事業名		子育て支援員研修実施事業						
事業概要		子ども・子育て支援新制度における支援の担い手となる人材を確保し、保育の質の向上を図るため、子育て支援に従事することを希望する者を対象に、必要な知識や技術等を修得させる全国共通の研修制度である子育て支援員研修を実施する。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		研修の実施						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		2,937	2,737	→	→			
期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援新制度の担い手となる人材の確保 保育の質の向上 						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町						
役割 分担	新潟市	研修の実施（業者委託）						
	連携市町村	参加者の募集・取りまとめ						
費用負担		参加人数に応じた経費をそれぞれ負担						
成果指標		研修受講者数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					101人		130人	

事業名		病児・病後児保育事業の広域利用					
事業概要		連携市町村に住所を有する児童は、住所地以外の連携市町村等が実施する病児・病後児保育事業も利用可能となるように連携して事業を実施する。					
スケジュール		具体的項目		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		検討会の実施・協定書締結		→			
		広域利用の実施					→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計	
		—	293,582	→	→		
期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> ・利用施設の選択肢の増加による子育てと就労の両立確保 ・利用者数増加による収入の増加及び経営の安定化 ・住民の利便性・満足度の向上、将来的な小児科医等の不足による施設数減少に備えた広域でのセーフティネットの確保 					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町					
役割 分担	新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市が設置している病児・病後児保育施設の運営費負担 ・市民への事業周知 ・市町村間の負担金精算事務 ・県・連携市町村との連絡調整 ・利用状況・予約システム導入・管理等 					
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村等が設置する病児・病後児保育施設の運営費負担 ・各市町村民への事業周知 ・市町村間の負担金精算事務 ・県・連携市町村との連絡調整 ・利用状況・予約システム導入・管理等 					
費用負担		広域利用者の住所地市町村が利用者数に応じて、各連携市町村等が実施する事業に係る費用の一部を負担する。					
成果指標		各自治体の当該自治体外の利用者数の合算値		現状値 (令和6年度)		目標値 (令和10年度)	
				262人		600人	

事業名		NET119 緊急通報システム共同運用事業					
事業概要		聴覚・言語機能に障がいがある方のための音声によらない 119 番通報システム＝NET119 緊急通報システムについて、対象者の利便性向上を目的に共同運用を行うもの。					
スケジュール		具体的項目		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
		NET119 対応訓練の企画、運営及び実施		→			→
		共同運用の実施		→			→
事業費見込額 (千円)		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	計	
		2,522	2,532	→	→		
期待される効果		圏域内の対象者の 119 番通報手段の更なる充実強化が期待される					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町					
役割 分担	新潟市	NET119 対応訓練の企画、運営及び実施					
	連携市町村	NET119 対応訓練の実施、対象者への周知活動					
費用負担		システム利用料は各市町村が負担する。					
成果指標		共同運用実施市町村数		現状値 (令和 5 年度)		目標値 (令和 10 年度)	
				11 市町村		11 市町村	

【連携協約の取組】

c 教育・文化・スポーツ

事業名	公共施設等相互利用（公共施設等総合管理計画）				
事業概要	各市町村における公共施設等総合管理計画について、取組内容の向上を目指し、情報交換会を開催する。				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	情報交換会の開催				→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	50	51	→	→	
期待される効果	公共施設等総合管理計画に係るノウハウが共有でき、各市町村の取組にフィードバックすることができる。				
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町				
役割 分担	新潟市	事務局となって本事業を推進する。			
	連携市町村	情報交換会へ参加し、情報提供と共有を図る。			
費用負担	情報交換会に係る費用は原則として新潟市が負担する。				
成果指標	公共施設等総合管理計画に関する情報交換会の開催回数	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
		年1回	年1回		

事業名		図書館相互利用						
事業概要		各市町村相互の住民に対し、図書資料貸出等のサービスを実施する。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		相互利用の実施						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		各市町村の住民が行政区域にとらわれず相互に利用しやすい図書館を選択できる。また貸出増加など、図書資料の有効活用が期待できる。						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町						
役割 分担	新潟市	新潟市立図書館に来館した連携市町村の住民に対し、図書資料の貸出サービスを実施する。						
	連携市町村	連携市町村の図書館に来館した新潟市の住民に対し、図書資料の貸出サービスを実施する。						
費用負担		他の市町村の住民に対する図書資料の貸出サービスに要する費用は、当該サービスを実施した市町村が負担する。						
成果指標		新潟市との相互利用市町村数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					11市町村		11市町村	

事業名		公民館相互利用						
事業概要		各市町村が有する公民館について、住民の利便性向上を図るため、各市町村間の相互利用の促進について協議する。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		相互利用に向けた協議						→
		相互利用の実施 ※協議の状況を踏まえながら実施する。			-----	-----	-----	-----→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		各市町村の住民が行政区域にとらわれず、相互に利用しやすい公民館を選択できるほか、施設の有効活用が図られ稼働率の上昇が期待できる。						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町						
役割 分担	新潟市	公民館の相互利用について協議するとともに、各市町村間の取まとめを行う。						
	連携市町村	公民館の相互利用について協議する。						
費用負担		事業費の発生が見込まれる時は、各市町村で協議の上決定する。						
成果指標		公民館相互利用に向けた意見 交換会の開催回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					1回		年1回	

事業名		生涯学習人材バンク情報共有						
事業概要		生涯学習人材バンクに登録されている講師情報を新潟市及び連携市町村間で共有し、生涯学習の促進を図る。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		人材バンク更新作業						→
		人材バンク情報共有						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		生涯学習に関する情報を共有することで、利便性が高まり、生涯学習活動がより一層推進される。						
連携市町村		三条市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市						
役割 分担	新潟市	生涯学習人材バンク講師情報の提供・共有を行う。						
	連携市町村	生涯学習人材バンク講師情報の提供・共有を行う。						
費用負担		事業費の発生が見込まれる時は、各市町村で協議の上決定する。						
成果指標		新潟市との情報共有市町村数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
					6市町村	6市町村		

事業名		文化・観光施設利用促進						
事業概要		各市町村で発行する広報誌等に、各市町村にある文化・観光施設の共通割引券を掲載することで、相互の入館者数増加を図る。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		市報にいがた掲載						→
		各市町村広報誌等掲載						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		750,427	761,663	→	→			
期待される効果		文化・観光施設における入館者の増加が期待できる。						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町						
役割 分担	新潟市	文化・観光施設共通割引券を市報にいがたで案内し、市公共施設に設置する。						
	連携市町村	文化・観光施設共通割引券を各市町村広報誌等に掲載する。						
費用負担		各市町村の広報誌等への掲載経費はそれぞれが負担する。						
成果指標		共通割引券の各市町村広報誌等への延べ掲載回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					11回		11回	

【連携協約の取組】

d 土地利用

事業名		コンパクトシティ推進						
事業概要		コンパクト・プラス・ネットワークの考え方にに基づき、立地適正化計画に関する各種施策等を、連携市町村と情報共有を図りながら推進する。						
スケジュール		具体的項目			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		都市機能誘導区域及び居住誘導区域に係る各種施策の推進						→
		その他各種施策の推進						→
		各種施策を各市町村間で情報共有						→
事業費見込額 (千円)		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		各市町村間で情報共有を図りながら、人口減少・少子高齢社会に適合した持続可能な都市づくりを図ることにより、圏域住民の暮らしの質の向上が期待できる。						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町						
役割 分担	新潟市	新潟市立地適正化計画に基づく各種施策の推進及び連携市町村間での情報共有を行う。						
	連携市町村	各市町村の立地適正化計画等に基づく各種施策の推進及び新潟市との情報共有を行う。						
費用負担		各市町村における各種施策の推進に要する経費はそれぞれが負担する。						
成果指標		コンパクトシティの推進に関する情報交換の実施回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					1回		年1回	

【連携協約の取組】

e 地域振興

事業名	信濃川やすらぎ堤賑わい創出							
事業概要	魅力ある水辺空間の創出を図るため、民間資金やノウハウを活用した信濃川やすらぎ堤の有効活用を一層促進し、持続可能なエリアマネジメントの構築を図るとともに、水辺活用事業について、連携市町村と情報共有を行う。							
スケジュール	具体的項目				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	占有施設の適正管理							→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計			
	1,500	1,650	→	→				
期待される効果	全国的な取組である「ミズベリング・プロジェクト」として、市域を越えて連携することで、各市町村間での交流と賑わいの創出が期待できる。							
連携市町村	三条市、燕市、五泉市、弥彦村							
役割 分担	新潟市	河川管理者と連携しながら「ミズベリング・プロジェクト」として先進的に事業を実施する。						
	連携市町村	各市町村における水辺の活用事業について情報共有し、イベント等での連携を行う。						
費用負担	新潟市の事業推進に係る費用は新潟市が負担する。							
成果指標	信濃川やすらぎ堤ミズベリング 来客数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)		
				33,900人		33,900人		

事業名		移住・定住促進					
事業概要		人口減少に対応するため、各市町村の魅力や移住促進支援策等の情報発信を相互に行うとともに、移住交流イベント等へ共同出展し、東京圏等からの移住・定住促進に取り組む。また、産業界と協力して圏域内企業への就業促進に向けた取組を行うとともに、就業環境等改善に取り組む市内企業への支援を行う。					
スケジュール		具体的項目		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		各市町村間の情報発信					▶
		移住交流イベント等への共同出展					▶
		圏域内就職促進に向けた取組					▶
		圏域内企業の魅力PR					▶
		移住・定住者等雇用促進支援					▶
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計	
		10,038	11,385	→	→		
期待される効果		圏域内における移住・定住人口の増加が期待できる。					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町					
役割 分担	新潟市	連携市町村との連絡・調整を行い、事業の推進を図る。 連携市町村や産業界と協力して圏域内企業への就業促進や就業環境等改善に向けた支援を行う。					
	連携市町村	事業の推進に必要な協力を行う。 新潟市と連携して就業促進や就業環境等改善に向けた取組や情報提供を行う。					
費用負担		実施内容に応じて、協議により費用負担を決定する。					
成果指標		イベント共同出展の回数		現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
				1回		1回	

※新発田市、燕市、胎内市、聖籠町、弥彦村は連携事業一覧3(2) e の位置付けはしない。

【連携協約の取組】

f 災害対策

事業名		災害時相互援助					
事業概要		「災害時における近隣市町村相互援助協定」に基づき、災害時において各市町村が相互に援助しながら、応急対策及び復旧活動に取り組むとともに、国土強靱化地域計画に関する情報共有を図る。					
スケジュール		具体的項目		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		災害時の相互応援					→
スケジュール		国土強靱化地域計画に関する情報共有					→
事業費見込額 (千円)		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計	
		—	—	→	→		
期待される効果		協定に基づき相互援助を行うことで応急対策等に寄与できる。					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町					
役割分担	新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における応援要請及び各市町村からの応援要請に基づく援助を行う。 ・新潟市国土強靱化地域計画の進捗状況等に関する情報共有を図る。 					
	連携市町村	災害時における応援要請及び新潟市からの応援要請に基づく援助を行う。					
費用負担		応援要請元が経費を負担する。					
成果指標		相互援助に関する情報交換の実施回数		現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
				1回		年1回	

事業名		119 番映像通報システムの活用						
事業概要		119 番通報における初動対応や救急事案での口頭指導、広域消防相互応援時の現場状況の情報共有に活用できる映像通報システムを導入する。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		勉強会の開催			—	—	—	→
		システム導入			—	—	—	→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		660	660	→	→			
期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の消防サービスの向上 ・広域消防応援時の情報共有の迅速化 						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町						
役割 分担	新潟市	勉強会の開催、広域消防応援時の情報共有						
	連携市町村	各市町村での事業運用、広域消防応援時の情報共有						
費用負担		システム導入、運用に係る経費は各市町村で負担する。						
成果指標		導入市町村数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					0 市町村		11 市町村	

事業名		防火・防災管理講習					
事業概要		防火・防災管理講習をクラウド型eラーニングシステムを活用したオンデマンド型講習により開催する。					
スケジュール		具体的項目		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		講習体系・システムの検討		→	→		
		オンデマンド型講習実施		→	→		
事業費見込額 (千円)		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計	
		—	—	→	→		
期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> ・受講者のライフスタイルに応じた受講機会の提供 ・受講者数の増加 ・受講者及び職員の負担軽減 					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町					
役割 分担	新潟市	運用方針の検討・協議、システム構築・維持管理					
	連携市町村	運用方針の検討・協議					
費用負担		ランニングコストは受講者負担					
成果指標		導入市町村数		現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
				0市町村		11市町村	

【連携協約の取組】

g 環境

事業名		再生可能エネルギーの地産地消事業						
事業概要		圏域の再エネ（太陽光・風力・水力・廃棄物含むバイオマス）拡大やエネルギーの地産地消の推進、圏域内の公共施設への再エネ電力の導入（地域新電力会社を活用）などを目指し、勉強会等を開催する。						
スケジュール		具体的項目			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		勉強会の開催						→
		再エネ導入に関する情報交換等						→
事業費見込額 (千円)		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計		
		—	2,390	→	→			
期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ電力拡大による圏域のCO2排出削減 ・エネルギーの地産地消によるエネルギー代金の域外流出の抑制 ・地域新電力を活用した再エネ電力導入による公共施設の経費（電気代）の削減 ・災害時のレジリエンス強化 						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町						
役割 分担	新潟市	圏域の再エネ拡大等に関する勉強会を開催する。						
	連携市町村	勉強会へ参加し、情報交換等を行う。						
費用負担		勉強会に係る費用は原則として新潟市が負担する。						
成果指標		本市（地域新電力会社）が関わり、導入に至った圏域内の再エネ件数	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)			
			—		6件			

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

【連携協約の取組】

a 地域公共交通

事業名	広域交通（県内都市間高速バス）維持				
事業概要	県内都市間高速バスについて、利用状況を把握した上で、利用者の移動実態に合わせた運行形態を確認し、利用促進策を講じるとともに、事業者による自主運行が厳しい場合、代替策の検討及び行政による運行や支援を連携して行う。				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	利用状況把握				→
	利用促進策検討				→
	利用促進策実施				→
	代替策検討				→
代替策実施				→	
※代替策の検討・実施は高速バスに関する動向を勘案し行う。					
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	7,920	10,240	→	→	
期待される効果	新潟市と連携市町村の移動手段を確保することで、都市間交流並びに住民の日常生活を支え、都市の拠点性向上を図ることができる。				
連携市町村	三条市、新発田市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、阿賀町				
役割分担	新潟市	圏域内を円滑に移動するための圏域全体での公共交通ネットワークの構築に向け、新潟市と連携市町村を結ぶ高速バス路線と新潟市内のバス路線及び鉄道を結節させる中枢としての役割を担うため、新潟市内における交通結節機能や公共交通の充実・強化を図る。 また、中心となって利用状況及び利用促進策を取りまとめるとともに、代替案を講じる連携市町村に対し、新潟市内の運行に関する情報提供及び技術的支援を行う。			
	連携市町村	利用状況把握や利用促進策に関する調査・検討を実施し、新潟市に対し情報提供を行う。また、代替策を講じる場合は、圏域全体での公共交通ネットワークの構築の観点も踏まえ、実施に向けた協議を行う。			
費用負担	新潟県の支援のあり方等を踏まえ、協議・検討する。				
成果指標	広域交通維持に関する意見交換会の開催回数	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
		1回		年1回	

事業名		生活交通（地域間幹線系統バス路線）維持					
事業概要		地域間幹線系統バス路線における利用状況を把握した上で、利用者の移動実態に合わせた運行形態を確認し、連携して利用促進策や維持活性化策を講じる。					
スケジュール		具体的項目		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		利用状況把握 利用促進策検討		—	—	—	→
		利用促進策実施		—	—	—	→
		維持活性化策検討		-----	-----	-----	-----→
		維持活性化策実施 ※維持活性化策の検討・実施は地域間幹線系統バス路線に関する状況を勘案し行う。		-----	-----	-----	-----→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計	
		—	—	→	→		
期待される効果		新潟市と連携市町村の地域間移動手段を確保することで、地域間交流や住民の日常生活を持続的に支える。					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、聖籠町、田上町					
役割 分担	新潟市	圏域内を円滑に移動するための圏域全体での公共交通ネットワークの構築に向け、新潟市と連携市町村を結ぶバス路線と新潟市内のバス路線及び鉄道を結節させる中核としての役割を担うため、新潟市内における交通結節機能や公共交通の充実・強化を図る。 また、中心となって、利用状況及び利用促進策を取りまとめる。					
	連携市町村	利用状況把握や利用促進策に関する調査・検討を実施し、新潟市に対し情報提供を行う。					
費用負担		維持活性化策は地域公共交通確保維持改善事業に準じた割合で負担する。					
成果指標		生活交通維持に関する意見交換会の開催回数		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
				1回	年1回		

事業名	生活交通（コミュニティバス）確保				
事業概要	地域間幹線系統バス路線によりカバーされていない地域において、移動実態を把握した上で、社会実験などを行いながら、行政が主体となり市町村をまたぐコミュニティバスの運行を連携して行う。				
スケジュール	具体的項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	事業手法検討				→
	利用者意向調査 社会実験計画策定				→
	社会実験実施				→
	運行 ※社会実験の状況を踏まえながら本格運行する。				→
事業費見込額 (千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
	—	—	→	→	
期待される効果	少子高齢化、人口減少に対応した持続可能な公共交通体系の構築を図ることができる。				
連携市町村	三条市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、弥彦村、田上町				
役割分担	新潟市	圏域内を円滑に移動するための圏域全体での公共交通ネットワークの構築に向け、新潟市と連携市町村を結ぶバス路線と新潟市内のバス路線及び鉄道を結節させる中枢としての役割を担うため、新潟市内における交通結節機能や公共交通の充実・強化を図る。また、中心となって運行計画を取りまとめる。			
	連携市町村	移動動態や各市町村区域内のルートに関する調査・検討を実施し、新潟市に対し情報提供を行う。			
費用負担	事業の実施と合わせて協議・検討する。				
成果指標	生活交通確保に関する意見交換会の開催回数	現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
		1回		年1回	

事業名		パーク&ライド推進						
事業概要		現状の移動実態を把握した上で、新たに公営パーク&ライドとして活用できる駐車場整備適地の検討を行うとともに、既存の公営パーク&ライド駐車場の相互利用促進を図る						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		既設駐車場相互利用促進策実施						→
		パーク&ライド駐車場検討・設計・整備						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		公共交通の利用促進が図れるとともに、利用者にとっては選択の幅が広がり、より利便性の高い移動を行うことができる。						
連携市町村		燕市、五泉市、阿賀野市						
役割 分担	新潟市	新潟市内における交通結節機能や公共交通の充実・強化を図り、公共交通機関を利用して新潟市中心市街地へ円滑にアクセスできる環境を整える。また、中心となって全体的な計画づくりを行う。						
	連携市町村	新潟市に対し、利用状況などの情報提供や相互利用促進に向けた協議を行う。						
費用負担		事業の実施と合わせて協議・検討する。						
成果指標		パーク&ライド推進に関する 意見交換会の開催回数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
					1回	年1回		

【連携協約の取組】

c 道路等の交通インフラの整備・維持

事業名		国県道等整備					
事業概要		新潟市と連携市町村の交流・連携強化のため、道路ネットワーク機能を充実する国県道や市町村道等の整備を推進する。					
スケジュール		具体的項目		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		国県道等の整備					→
事業費見込額 (千円)		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計	
		2,725,264	3,910,620	→	→		
期待される効果		新潟市と連携市町村の交流・連携の強化が図られ、持続可能な都市の発展や安心・安全なまちづくりに寄与する。					
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町					
役割 分担	新潟市	国・県や各市町村と情報共有しながら道路ネットワーク機能の充実を図る。					
	連携市町村	国・県や新潟市と情報共有しながら、道路ネットワーク機能の充実を図る。					
費用負担		必要に応じて協議の上、決定する。					
成果指標		国県道供用延長		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)		
				663.1km	663.6km		

【連携協約の取組】

e 地域内外の住民との交流・移住促進

事業名		出会い・結婚サポート事業						
事業概要		結婚希望者の出会いの機会を増やすため、圏域市町村住民が参加対象となる各市町村婚活イベント等の相互PRを実施するとともに、婚活イベントの共同開催検討・実施や圏域住民を対象とする民間事業者の取組への支援などを行う。						
スケジュール		具体的項目			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		各市町村におけるイベント開催・相互PR			—			→
		イベントの共同開催検討・実施			—			→
		広域連携体制構築、連携実施			—			→
		その他婚活支援事業の検討・実施			-----			----->
事業費見込額 (千円)		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		圏域での発信力を高め、効果的なPR機会の増大が期待できる。						
連携市町村		三条市、加茂市、五泉市、阿賀野市						
役割 分担	新潟市	連携市町村と協力して婚活イベントをPRするほか、連携して婚活支援を実施する。						
	連携市町村	独自イベントを実施するとともに、新潟市と連携しながら婚活支援を実施する。						
費用負担		独自イベント開催経費は実施市町村が負担する。 共同開催イベントは人口等に応じて、連携市町村で負担する。						
成果指標		圏域内での協力したイベントの開催回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					8回		8回	

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

【連携協約の取組】

a 人材の育成

事業名	職員研修交流							
事業概要	各市町村で行っている職員研修に派遣交流することで、異なる角度での物の見方や、課題解決に向けた手法の検討などを通し、職員の資質向上を図る。							
スケジュール	具体的項目				令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
	研修交流							→
事業費見込額 (千円)	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計			
	16,308	16,318	→	→				
期待される効果	研修を通した職員のスキルアップが期待できる。							
連携市町村	三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、弥彦村							
役割 分担	新潟市	研修交流について連携市町村と協議し実施する。						
	連携市町村	研修交流について新潟市と協議し実施する。						
費用負担	研修に係る経費は応益（人数）負担とする。							
成果指標	職員研修交流市町村数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)		
				5市町村		7市町村		

事業名		水道分野専門別研修						
事業概要		新潟市が開催している水道分野の各専門技術研修について、連携市町村の各事業体職員も受講することで、専門的な知識や技術力の向上を図る。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		専門別研修						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		専門分野の研修を統一して行うことで、事業の効率化と職員のスキルアップを図ることができる。						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町						
役割 分担	新潟市	研修会の運営及び各事業体からの受講者を取りまとめる。						
	連携市町村	受講者の取りまとめ及び新潟市との連絡調整を行う。						
費用負担		研修会に係る経費については原則として新潟市が負担する。						
成果指標		合同研修会の開催回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					2回		2回	

事業名		教職員人材育成							
事業概要		各市町村が独自に行っている教職員研修等に相互に参加できる体制を整えるため、新潟県及び各市町村間で情報交換と検討を行う。							
スケジュール		具体的項目				令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		新たな研修連携の検討							→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計			
		—	—	→	→				
期待される効果		教職員の更なる授業力・指導力の向上が期待できる。							
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町							
役割 分担	新潟市	中心となって新潟県教育委員会との情報交換及び連携市町村への情報提供・提案を行い、必要に応じて協議会を開催する。							
	連携市町村	新潟市からの提案等に対して、必要な情報の提供や提案を行う。							
費用負担		必要に応じて協議の上、決定する。							
成果指標		教職員人材育成に関する情報交換の実施回数				現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
						1回		年1回	

【連携協約の取組】

b 圏域内市町村の職員等の交流

事業名	職員派遣交流							
事業概要	新潟市と連携市町村の間において職員の人事交流を行い、業務を通じた職員の連携強化等を図る。							
スケジュール	具体的項目				令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
	人事交流							→
事業費見込額 (千円)	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計			
	—	—	→	→				
期待される効果	自治体間の職員の連携強化が期待できる。							
連携市町村	三条市、加茂市、五泉市、阿賀野市、聖籠町、弥彦村							
役割 分担	新潟市	職員交流について連携市町村と協議し実施する。						
	連携市町村	職員交流について新潟市と協議し実施する。						
費用負担	派遣職員に係る人件費は派遣市町村との協定に基づき、応分の負担とする。							
成果指標	職員派遣交流市町村数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)		
				4市町村		6市町村		

事業名		教職員交流						
事業概要		各市町村における先進的な取組を情報共有し、各学校へフィードバックすることを目的として、教職員の人事交流について情報交換と検討を行う。						
スケジュール		具体的項目			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
		新たな人事交流の検討						→
事業費見込額 (千円)		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	計		
		—	—	→	→			
期待される効果		先進的な取り組み等を各市町村で情報共有することによる教育活動の質の向上が期待できる。						
連携市町村		三条市、新発田市、加茂市、燕市、五泉市、阿賀野市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町						
役割 分担	新潟市	中心となって新潟県教育委員会との情報交換及び連携市町村への情報提供・提案を行い、必要に応じて協議会を開催する。						
	連携市町村	新潟市からの提案等に対して、必要な情報の提供や提案を行う。						
費用負担		事業費の発生が見込まれる時は協議の上決定する。						
成果指標		教職員交流に関する情報交換の実施回数			現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)	
					2回		年1回	

新潟広域都市圏ビジョン（別冊）

発行・編集：新潟市 政策企画部

〒951-8550

新潟市中央区学校町通1番町602番地1

TEL 025-226-2153

FAX 025-224-3850

第1期策定 平成29年（2017年）3月

第2期策定 令和 3年（2021年）3月

第3期策定 令和 7年（2025年）3月